

Trados の使い方

第 3 章

原文の分節化(segmentation)の改善 (master TM の作成)

1. 和文英訳の場合

(1) 問題点

デフォルトでは、punctuation と colon で分節が切れるように設定されている。punctuation で切れるので、小数点を含む数字があれば、小数点で分節が切られる。

(2) 対応策

中身が空っぽで、原文の切れ方だけを規定する翻訳メモリ（当社では、「マスターTM」と命名）を作成しておき、常時、このマスターTMを翻訳メモリの1つとして使用して翻訳を行う。

以下、まず、和文英訳用マスターTM（当社では「WEmaster」と命名）の作成方法を説明する。

- (i) 「翻訳メモリ」ビューで翻訳メモリを新規作成する。
- (ii) 「翻訳メモリ」ビューで新規作成した翻訳メモリを開く。
- (iii) 「翻訳メモリ」ビューの「ホーム」タブにある「設定」をクリック。
- (iv) 「翻訳メモリの設定」ダイアログで「言語リソース」の「分節規則」をクリックする。
- (v) デフォルトで、「punctuation」と「colon」が設定されているので、これらを削除する（これで、小数点やコロンで分節が切れなくなる。なお、原文でコロンの後に改行マークがある場合にはそこで分節が切れる）。
- (vi) punctuation の削除により、句点「。」で分節が切れなくなる。これでは困るので、句点で分節が切れるように規則を追加する。方法は、
 - a) 追加ボタンをクリック
 - b) 「説明」の欄に入力する（「句点で切る」等）。
 - c) 「分節の前」を「問わない」に設定。
 - d) 終了文字欄に「。」を入力する。さらに、「終了句読点を含める」のチェックボックスにチェックを入れる。
 - e) 「分節の後」を「問わない」に設定
- (vii). 編集した翻訳メモリを使用して「1つの文書の翻訳」を行う。

上記した「分節規則の編集」機能は有用であり、例えば、セミコロンで分節を切りたい場合には、上記した句点の場合と同様にして、セミコロンで切れるように設定可能である。

2. 英文和訳の場合

(1) 問題点

デフォルトでは、「et al.」、「Biol.」、「Chem.」等の略号のピリオドで分節が切断される。このため、明細書中に学术论文の文献名が多数記載されている場合等では、多数の断片が生成してしまい、膨大な分節結合の作業が発生して不便である。

(2) 対応策

英文和訳用のマスターTMを作成し、

- (i) 「翻訳メモリ」ビューで作業に使用する翻訳メモリを作成する。
- (ii) 「翻訳メモリ」ビューで作成した翻訳メモリーを開く。
- (iii) 「翻訳メモリ」ビューの「ホーム」タブにある「設定」をクリック。
- (iv) 「翻訳メモリの設定」ダイアログで「言語リソース」の「略語リスト」に省略形を追加する。
- (v) 編集した翻訳メモリを使用して「1つの文書の翻訳」を行う。

なお、上記のように分節の切れ方を設定した翻訳メモリ（マスターTM）は、**最初に1回だけ作成すれば、そのメモリを繰り返し使用できる**。つまり、分節の切れ方だけを設定し、中身は空っぽの翻訳メモリを作成しておき、この翻訳メモリを使用して翻訳を行うことにより、原文を読み込んだ段階で、この翻訳メモリに設定されたとおりに分節が切れる。当社では、このような翻訳メモリを「マスターTM」と呼んでおり、「WEmaster」（和文英訳用）と、「EJmaster」（英文和訳用）を作成している。これらのマスターTMを、翻訳で使用する翻訳メモリの1つとして用いている。これにより、分節の切れ方を修正する作業は、大幅に減少（通常、ほとんどない）している。